

簡易水道における 水道施設台帳システムの 共同構築事例

株式会社 管総研

○西川 享志

岩間 智視

目次

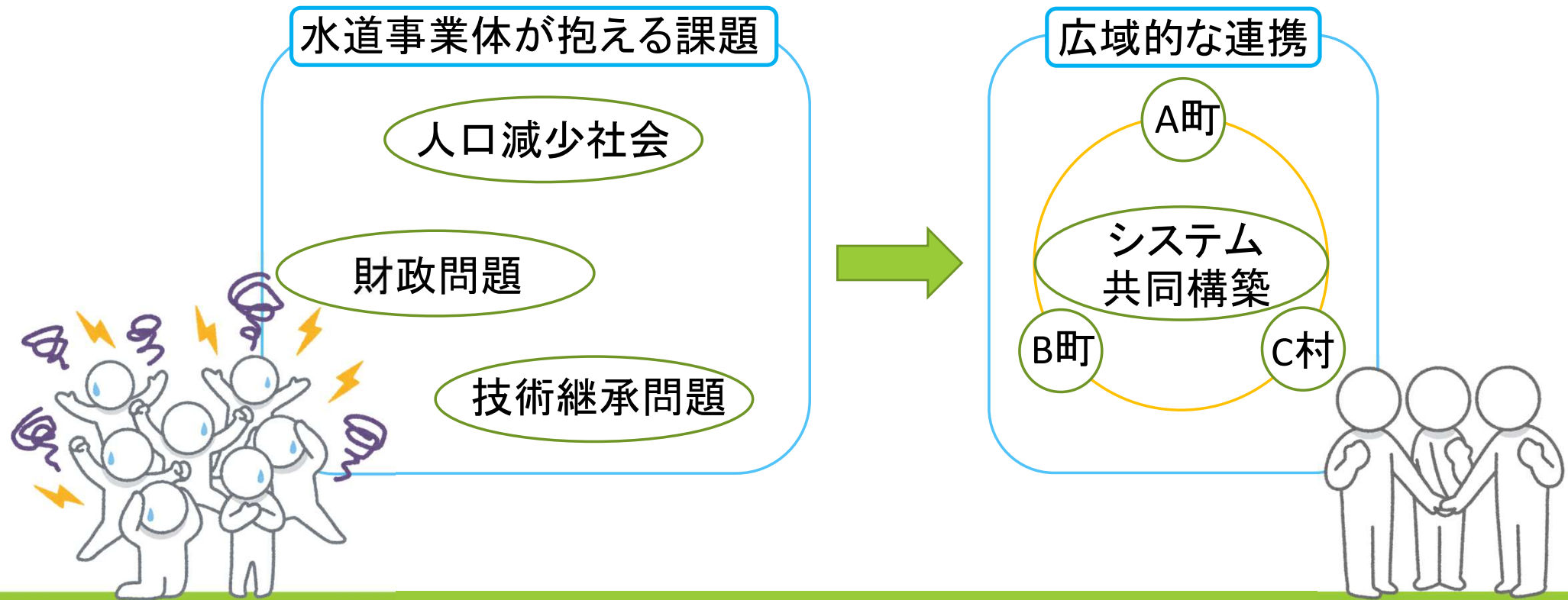
1. はじめに

2. 水道施設台帳システムの共同構築手順

3. システム共同利用のメリット

4. 今後の課題、展望

1. はじめに



目次

1. はじめに
2. 水道施設台帳システムの共同構築手順
3. システム共同利用のメリット
4. 今後の課題、展望

2. 水道施設台帳システムの共同構築手順

(1) データ諸元

表1 データ諸元

事業体名	管路延長(km)	給水戸数(戸)	図面枚数(枚)
A	74	1300	800
B	28	700	180
C	59	1110	700

(2) 発注

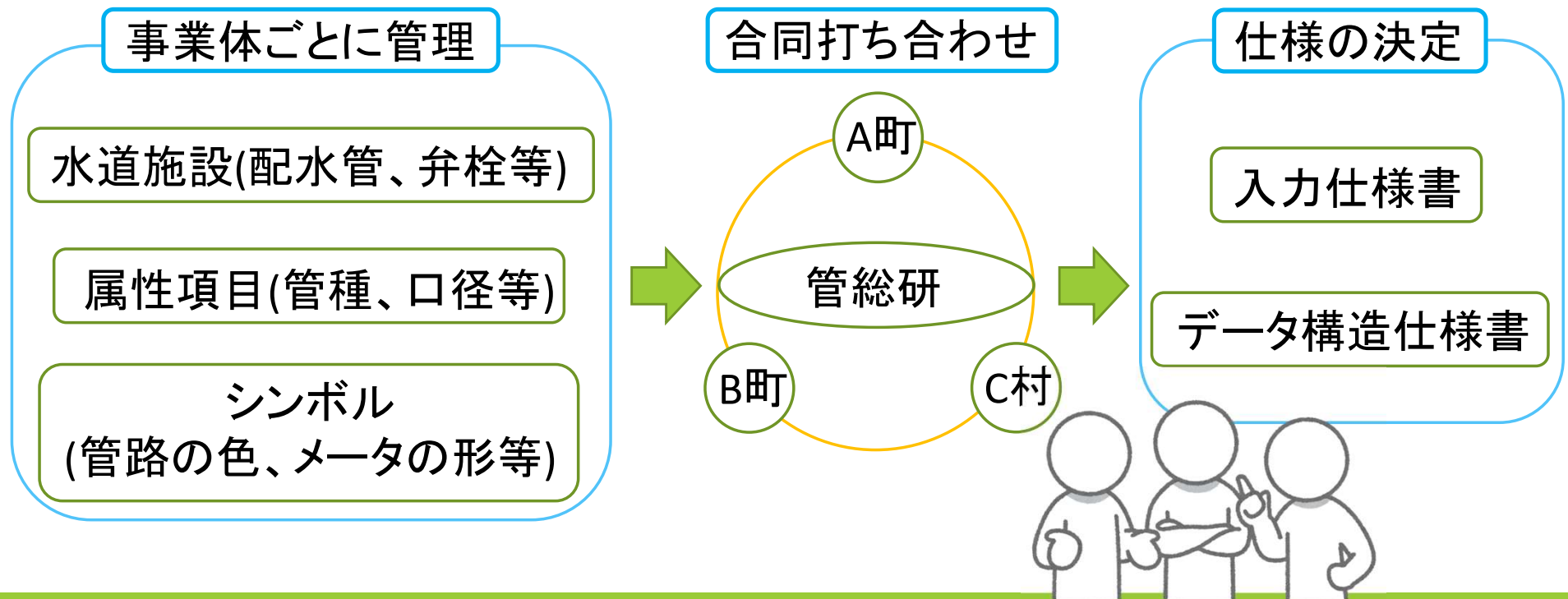
国庫補助金の申請



システム導入費の削減

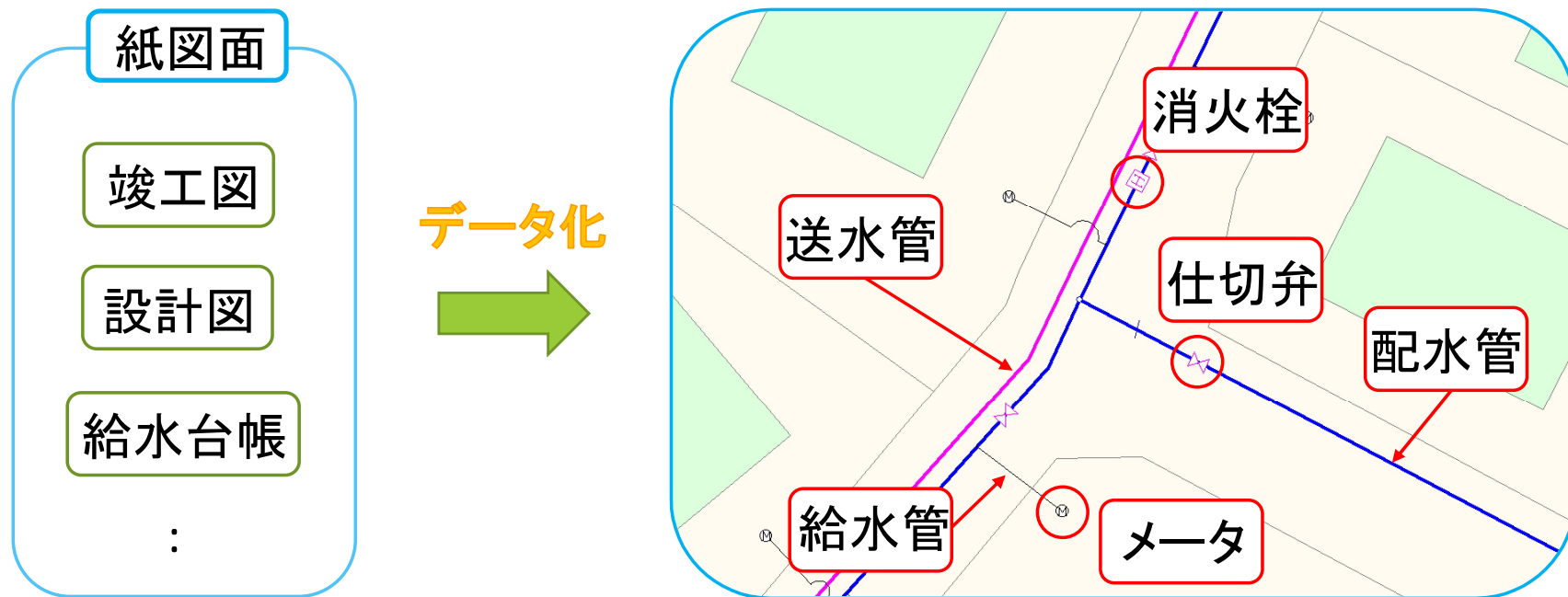
2. 水道施設台帳システムの共同構築手順

(3) 入力仕様決定



2. 水道施設台帳システムの共同構築手順

(4) データ整備



2. 水道施設台帳システムの共同構築手順

(4) データ整備

無形資産のデータ化

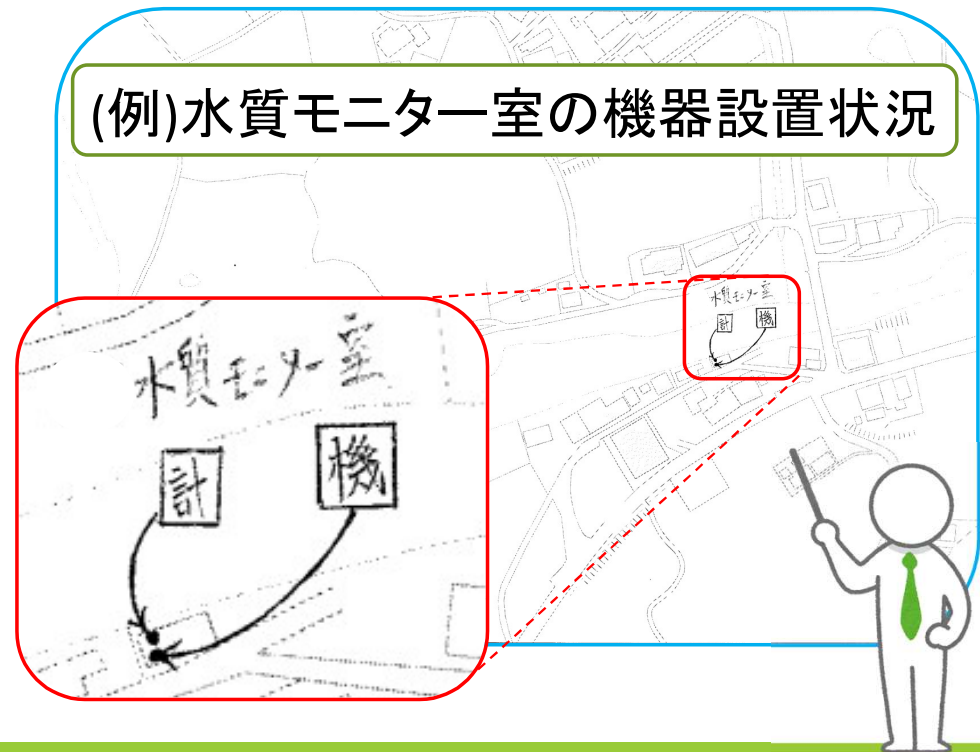
給水台帳に記載がない
メータの布設位置

竣工図が存在しない
配水管の布設経路

施設台帳に記載がない
水質モニター室の設備状況

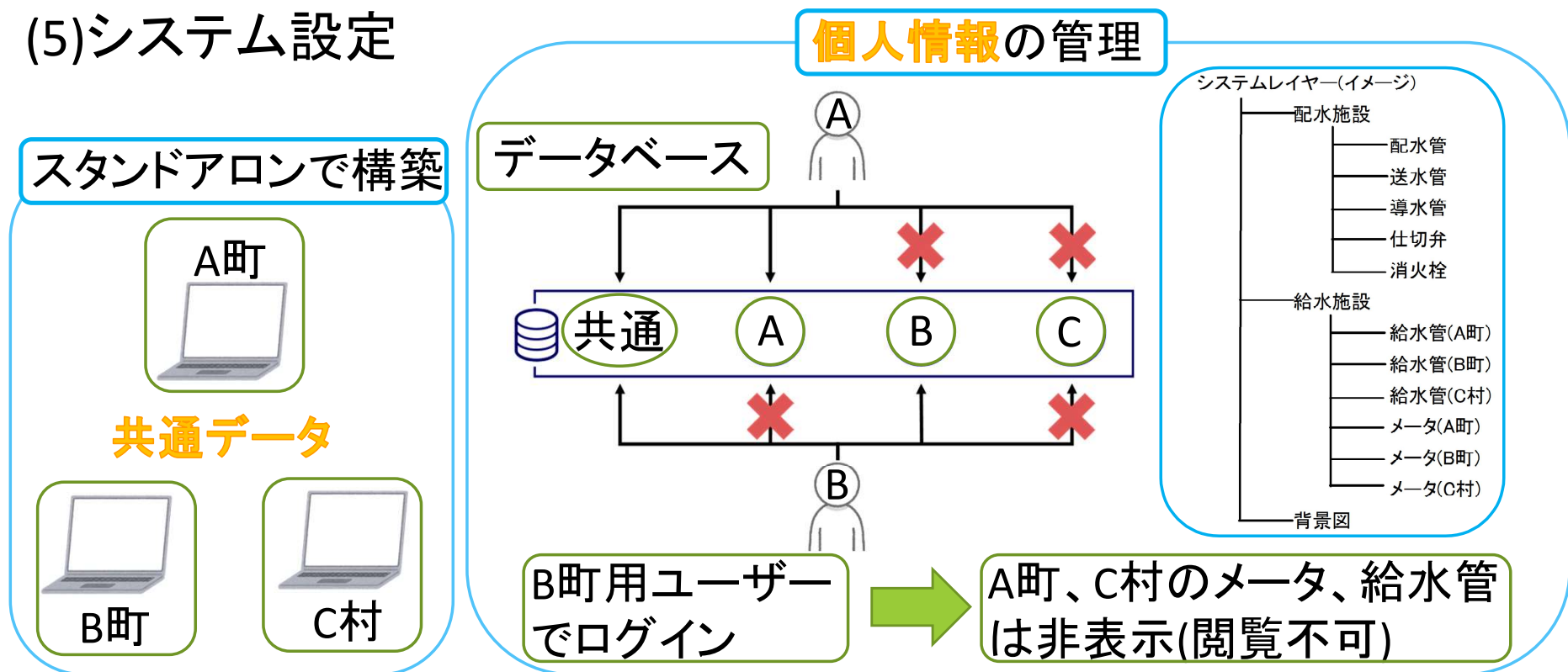
:

(例) 水質モニター室の機器設置状況



2. 水道施設台帳システムの共同構築手順

(5)システム設定

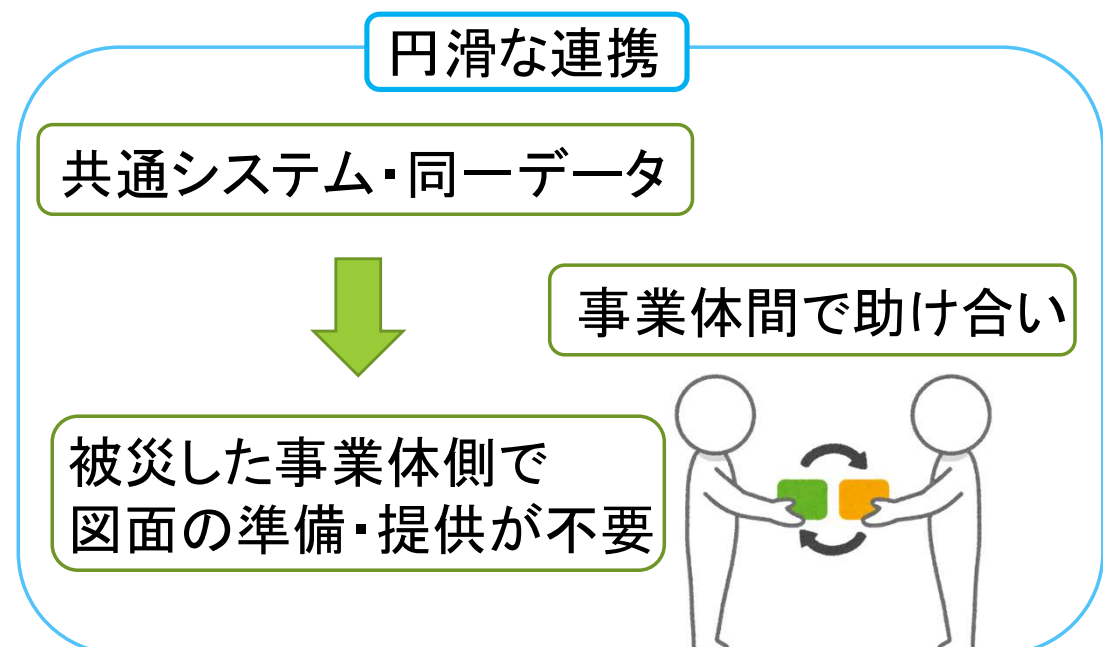
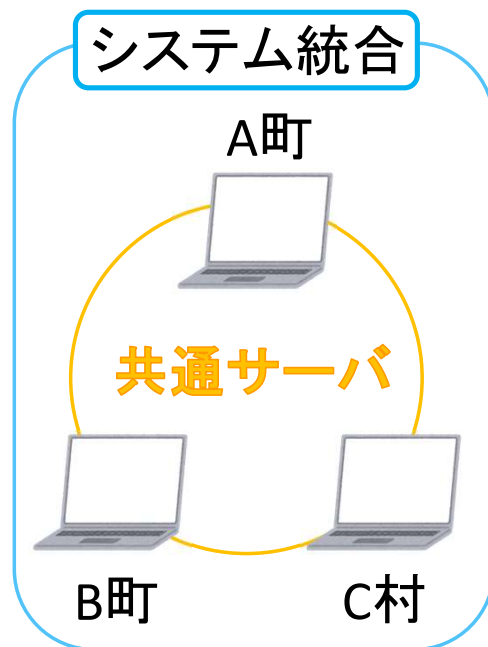


目次

1. はじめに
2. 水道施設台帳システムの共同構築手順
3. システム共同利用のメリット
4. 今後の課題、展望

3. システム共同利用のメリット

(1)水道事業の統合対応 (2)災害時の連携強化



3. システム共同利用のメリット

(3)運用コストの削減

(4)問題発生時の復旧対応

合同実施

維持管理費用

保守点検費用

データ更新費用



単独実施より安価に

バックアップシステムとして利用

A町



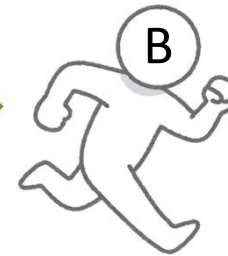
共通データ



B町



C村



A町



C村

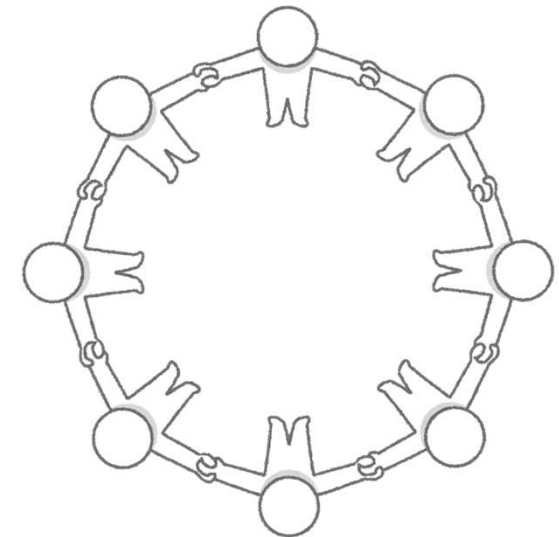
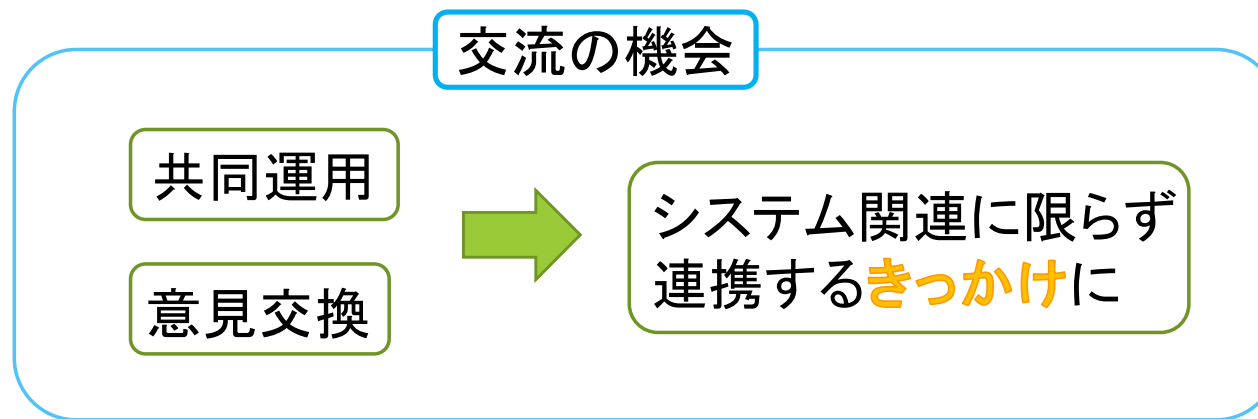


C村



3. システム共同利用のメリット

(5)事業体間の情報共有



目次

1. はじめに
2. 水道施設台帳システムの共同構築手順
3. システム共同利用のメリット
4. 今後の課題、展望

4. 今後の課題、展望

(1)災害時連携の対応手順等の整備

共通の認識を持つための打ち合わせ

対応の流れ・方法の確認

(2)システムのクラウド化

端末に依存せずに共同利用

利用場所に縛られず、より多くの現場で利用



ヒアリングにご協力頂いた事業体の皆様
ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。

